

地域連携だより Face to Face

第11号

在宅医療・多職種
連携勉強会

訪問看護師・秋山正子さんが講演

10月12日、釜石広域介護支援専門員連絡協議会が主催する「在宅医療・多職種連携勉強会」が釜石イオンタウンホールにて開催されました。会場には釜石近隣のケアマネジャーのほか、新宿や横浜、盛岡などの遠方からも多職種の皆さんが集いました。

今回の講演は、チームかまいしアドバイザーの寺田尚弘医師が座長を務め、「地域包括ケアにおける医療と介護の連携について」をテーマに、訪問看護師の秋山正子さん（㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長、暮らしの保健室室長、NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長）にご講演いただきました。

講演は、地域包括ケアシステムの概要や在宅医療体制における訪問看護サービスに関すること、患者の生活機能の低下をいかに防ぎ、病院・施設との連携強化を図るかなどについて、多くの具体例・実践例をあげての内容となりました。

講演を通じて、高齢社会における「その人の輝きを引き出す」終末期ケアのためには、医療・介護の一体的な提供が不可欠であり、そのためには病院と在宅とのスムーズな連携が必須であること、病院への働きかけとして在宅から病院へのフィードバックが必要なことなどが分かり、連携への理解が深まりました。

チームかまいしでは、今後も在宅医療介護連携に関する多職種対象事業に協力していきます。



秋山正子さん



様々な実践例を伺いました

「釜石市健康づくりの集い」市民公開講座のご案内

楽しく学びながら健康への関心を深める「釜石市健康づくりの集い」開催にあわせ、ふれあい歯科ごとう(新宿区)の五島朋幸代表らを迎え、「**食**べること **生**きること **～健康を支える多職種連携～**」をテーマに公開講座を開催します。(申込不要、入場無料)

日時 **11月15日(土)** 12:50 開場、13:20 開演
会場 **イオンタウン釜石 2階 イオンタウンホール**



五島朋幸先生

日本歯科大学歯学部卒
ふれあい歯科ごとう代表
日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科臨床准教授
新宿食支援研究会代表
在宅ケアを支える若手歯科医師の会発起人
ほか活動、著書多数

OKはまゆりネットの活用に向けて

9月4日、釜石地区合同庁舎を会場に、「釜石・大槌地域在宅医療連携体制検討会」が開かれ、医療、介護、福祉、行政など、およそ80名の多職種従事者が出席しました。

この会は、釜石医療圏における在宅医療の促進に向けて協議するもので、今回で10回目の開催となります。これまでこの検討会では、かまいし・おおつち医療情報ネットワーク（通称：OKはまゆりネット）の導入や運用方法、活用促進に向けた協議が進められてきました。今回の検討会は、これまでとは趣向を変えて、多職種の「現場」で働いている人を中心に呼びかけ、「それぞれの職種が本当に必要としている情報は何か」をワークショップを通じて明らかにする内容となりました。

ワークショップは、「患者・利用者の役に立ち、よりよいサービスを提供するため」という視点を前提に、①多職種が混ざったグループでの協議、②職種ごとのグループ協議、③発表、の流れで進められました。

最初のグループ協議では、事前にまとめられた「各職種が持っている情報の一覧」を参考に、自分の職種の業務内容と、その職種が持つ固有の情報などを、他職種に説明・アピールしてもらいました。職種間の相互理解を深め、それぞれがどんな情報を持っているのかを知る場面となりました。

続く職種ごとの協議では、先ほどの協議を踏まえて「自分たちの職種はどの職種のどんな情報を知りたいのか」について意見をまとめ、発表してもらいました。

このワークショップで出された「職種ごとに必要としている情報」については、チームかまいしで集計・分析します。今回の結果は、OKはまゆりネットが患者・利用者の役に立つとともに、多職種の業務の利便化につながるシステムとなるように、多職種で共有する情報として提供できるかどうか、今後あらためて協議を進めていきます。

ワークショップで抽出された意見を分析・考察しました。

ホームページで閲覧できます → <http://www11.ocn.ne.jp/~zaitaku/info.html>



小森貴先生講演会を開催

8月21日、ホテルサンルート釜石を会場に、平成26年度第7回釜石医師会学術講演会がチームかまいしとの共催により開催されました。

講演会では、「地域住民・患者のための機関病院と開業医の連携の展望」と題して、日本医師会の小森貴常任理事が講演を行い、岩手県立釜石病院の川上幹夫院長が座長を務めました。

講演の中で小森先生は、2025年に見込まれる、特に都市部における高齢者数の増加について述べ、都市と地方における医師の偏在の解消と、かかりつけ医の適正評価や技術の向上を目指した専門医制度の設置などについてお話しされました。「地域の医師を尊重し、地方に元気を取り戻し、日本に活力を取り戻す」という力強い言葉に、関係多職種を中心に集まったおよそ70名の参加者は、真剣に耳を傾けていました。



地域包括ケアシステム研修会開催

10月6日、市保健福祉センターにおいて、釜石市地域包括ケア推進本部の主催により、平成26年度第1回地域ケア推進会議および釜石市地域包括ケアシステム研修会が開かれました。

会議には釜石医師会などの医療関係者や市の人権擁護委員、社会福祉協議会、弁護士、警察署、消防署、教育委員会など幅広い分野から選出された委員が出席し、釜石市長より委嘱状の交付を受けました。

会議終了後は、委員の田中尚先生（岩手県立大学社会福祉学部社会福祉学科教授）が講師を務める地域包括ケアシステム研修会が開催されました。研修会には多数の市職員が参加し、日本の高齢者福祉の動向や国が提示する地域包括ケアシステム等について学びました。高齢者だけではなく助けが必要な全ての人が対象となり、生活応援センター単位で推進されている釜石市独自の地域包括ケアシステムについて認識を深める機会となりました。



医科→歯科

患者紹介を始めます!

チームかまいしは、在宅医療における歯科連携の推進のため、釜石歯科医師会との打ち合わせ会を行っています。9月30日には通算9回目の打ち合わせ会が開かれ、医科歯科同行訪問研修などの連携に関する協議を行ないました。

今回の協議では、昨年歯科医師会でまとめられた訪問歯科診療に関する医科歯科連携フローに基づいて意見交換と調整を行い、いよいよ実際の患者紹介を始めることを確認しました。

このフローでは、医師が必要と思った時点で直接かかりつけ歯科医または患者が希望する歯科医師に連絡すること、かかりつけ歯科医がない場合や患者が希望する歯科医師が訪問診療を行わない場合は、医師が「釜石歯科医師会チームかまいし連携委員会」に連絡を取り、委員会が訪問診療を行う歯科医師に繋ぐこととなっています。

今後はこの方針に則して医科から歯科への患者紹介を進めながら、必要に応じて随時「医科歯科同行訪問研修」を組み入れることで、医科歯科連携と訪問歯科診療の推進を図ります。歯科治療や口腔ケアが必要な患者が適切な医療を確実に受けることができるよう、連携体制の構築にご協力ください。



訪問歯科診療に関する医科歯科連携フロー



編集後記

今号では医科歯科連携の一步進んだ実践的な取り組みをお伝えすることができました。病院連携室とチームかまいしとの一次連携など新たな取り組みも進めています。平成26年度も残り半を切りましたが、まだまだ連携課題の解決に向けて動いていきます!(N)

発行 / 在宅医療連携拠点チームかまいし

〒026-0025 釜石市大渡町3丁目15番26号

TEL 0193-55-4536 FAX 0193-22-6375

✉ zaitaku@team-kamaishi.jp

ウェブサイト <http://www11.ocn.ne.jp/~zaitaku>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/teamkamaishi>

アドレスが
変わりました